

(2022.07.28 revised)

Comparison Evaluation of MPP(Metalized Polypropylene) Capacitors

フィルムキャパシタ比較試験結果報告Vol.2



Table of Contents

III. X-ray analyses

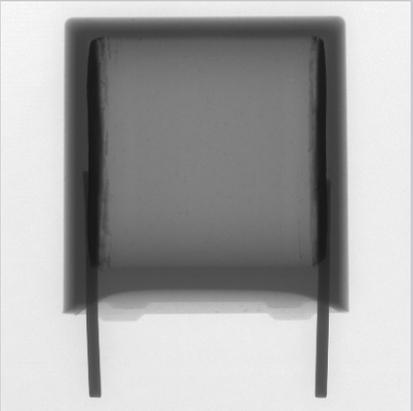
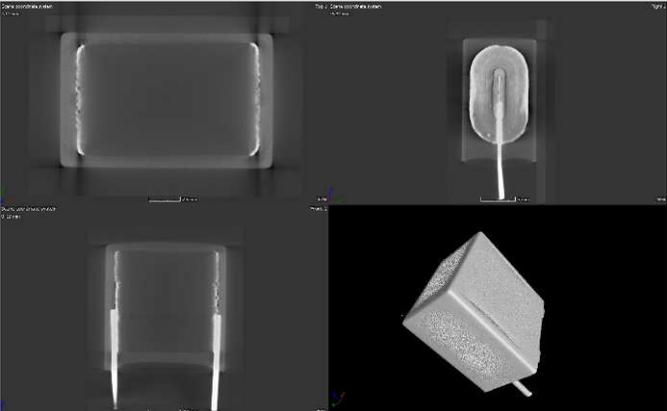
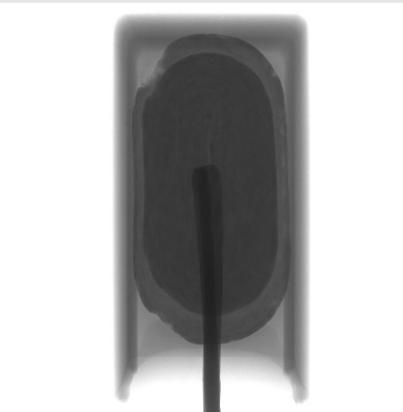
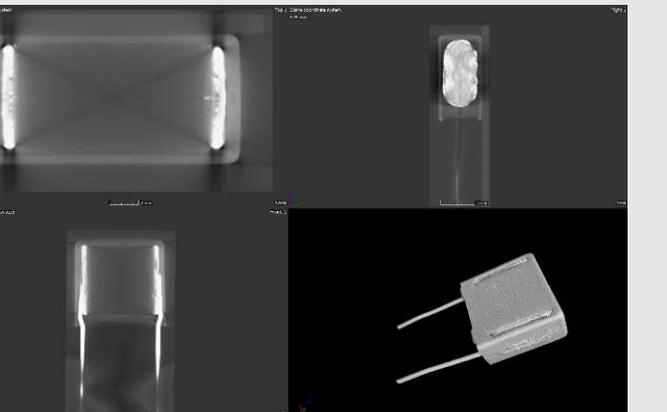
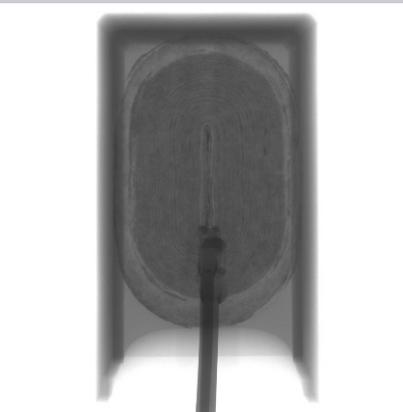
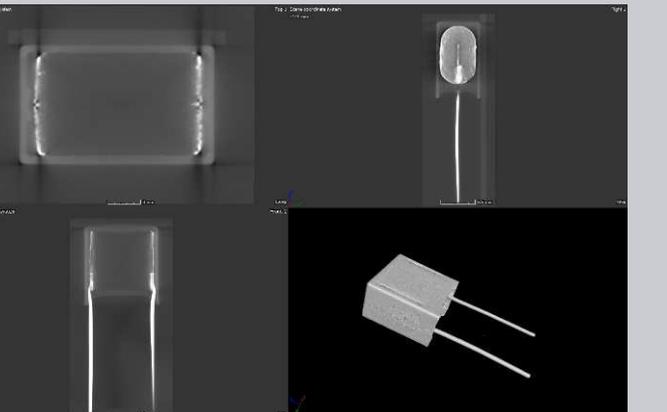
IV. SEM analyses

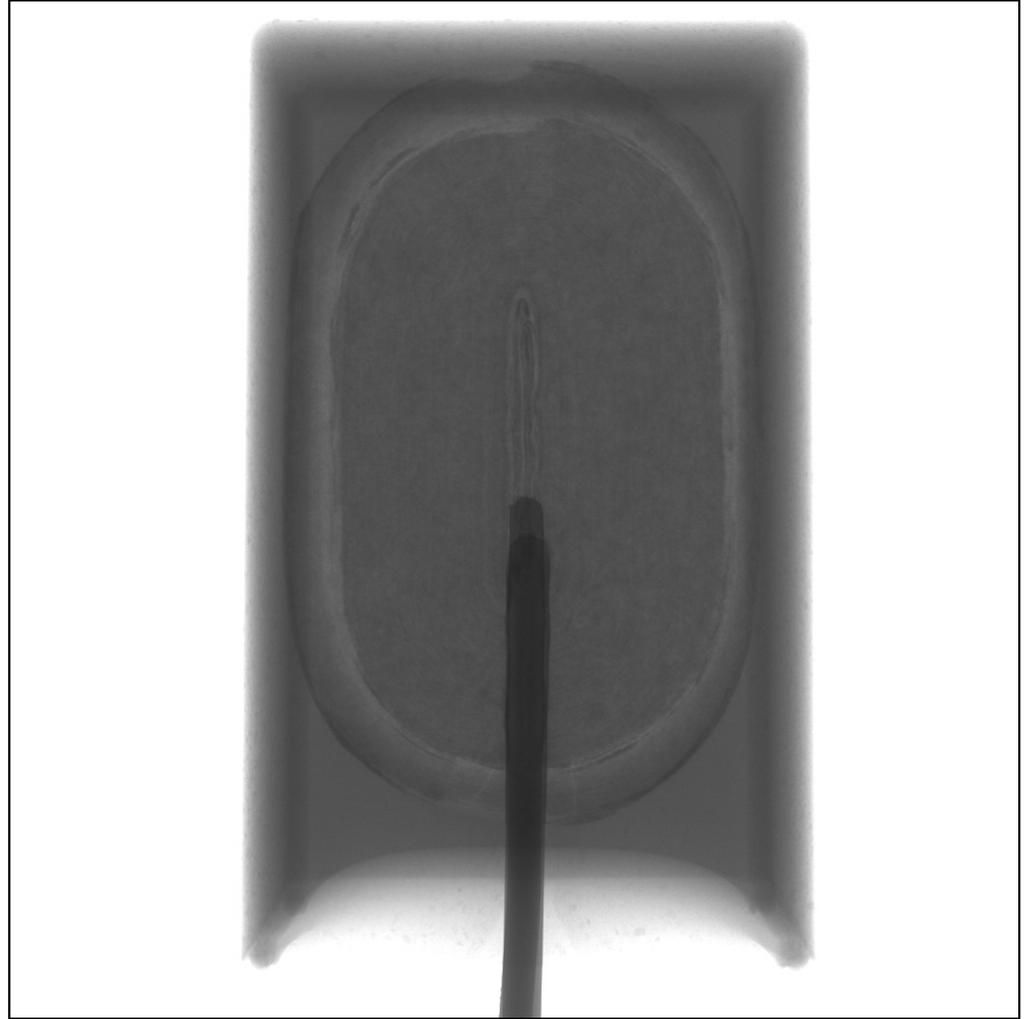
V. Summary and conclusions

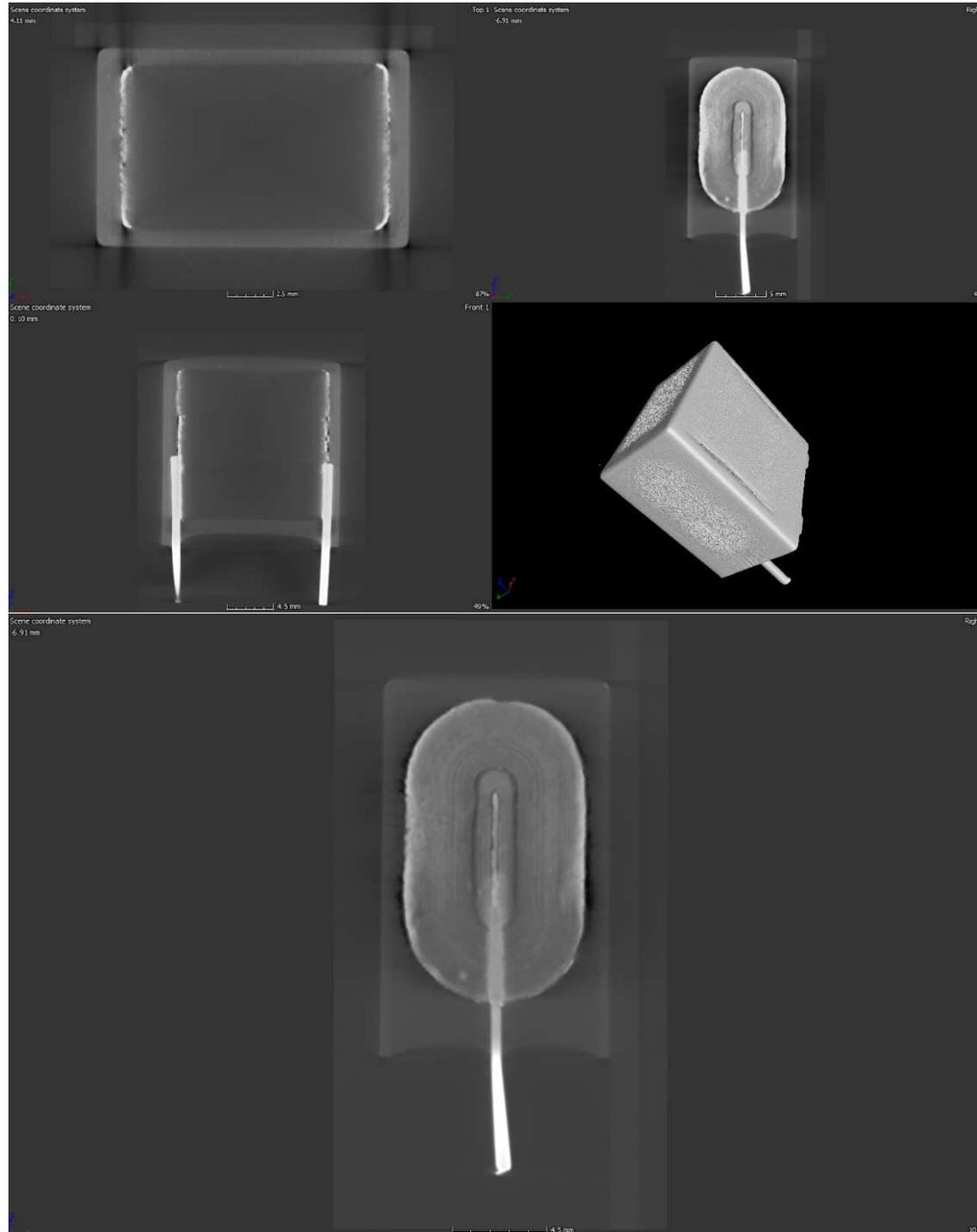


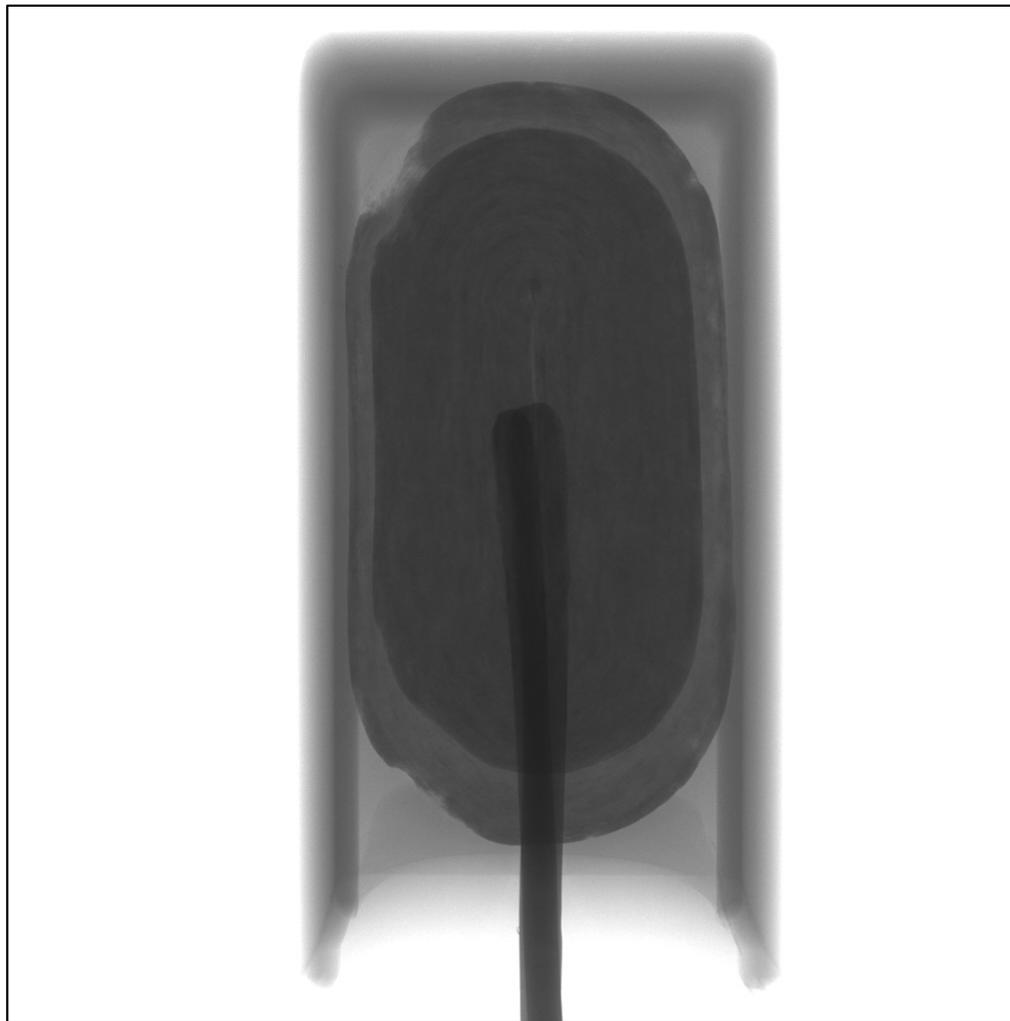
III. X-ray analyses

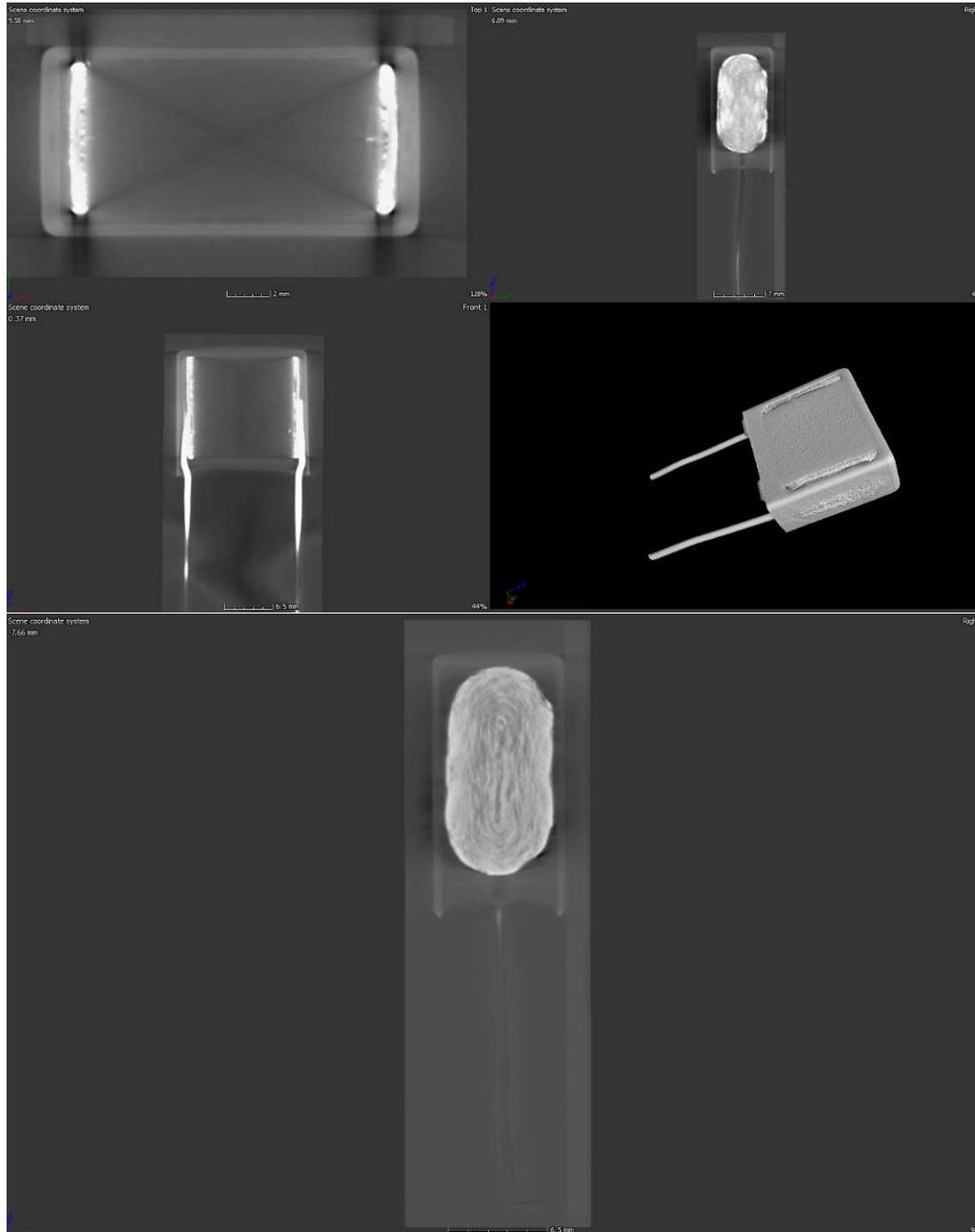


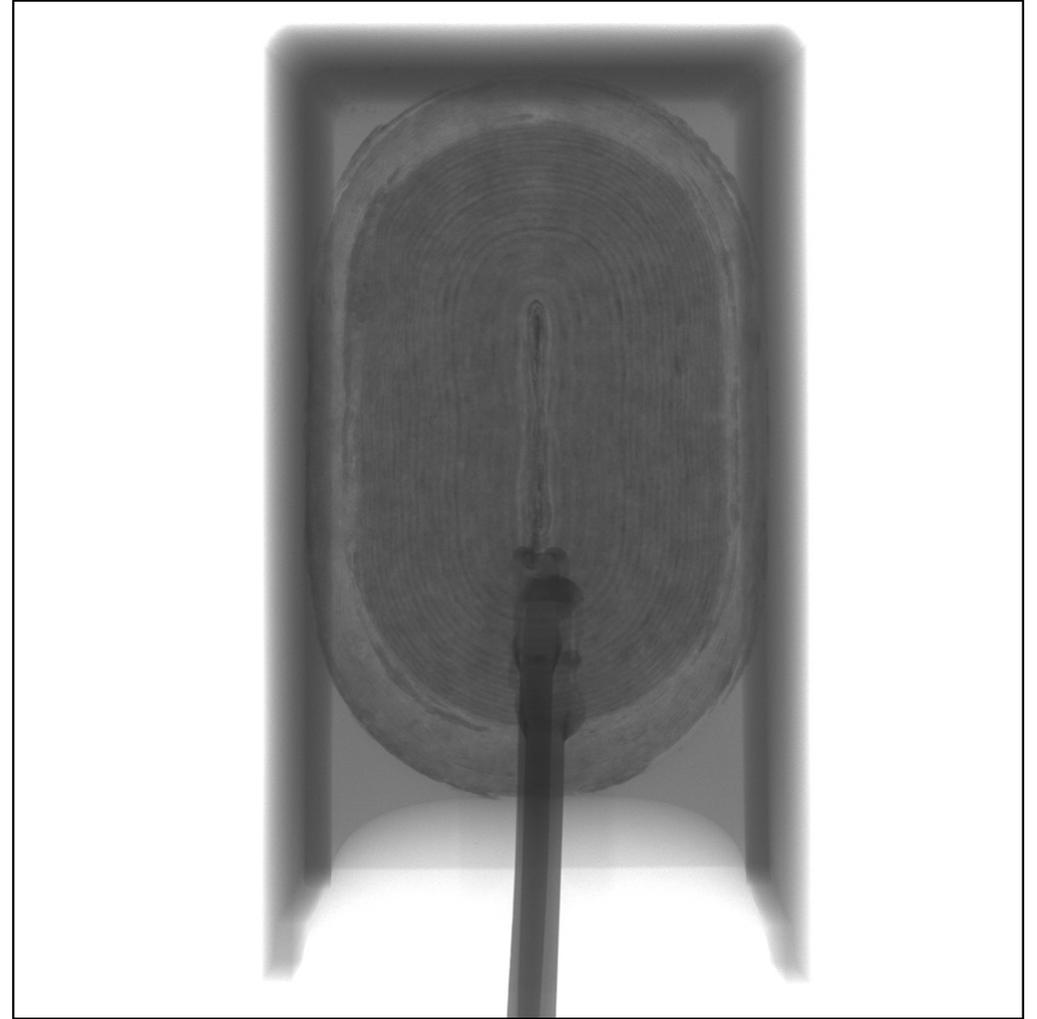
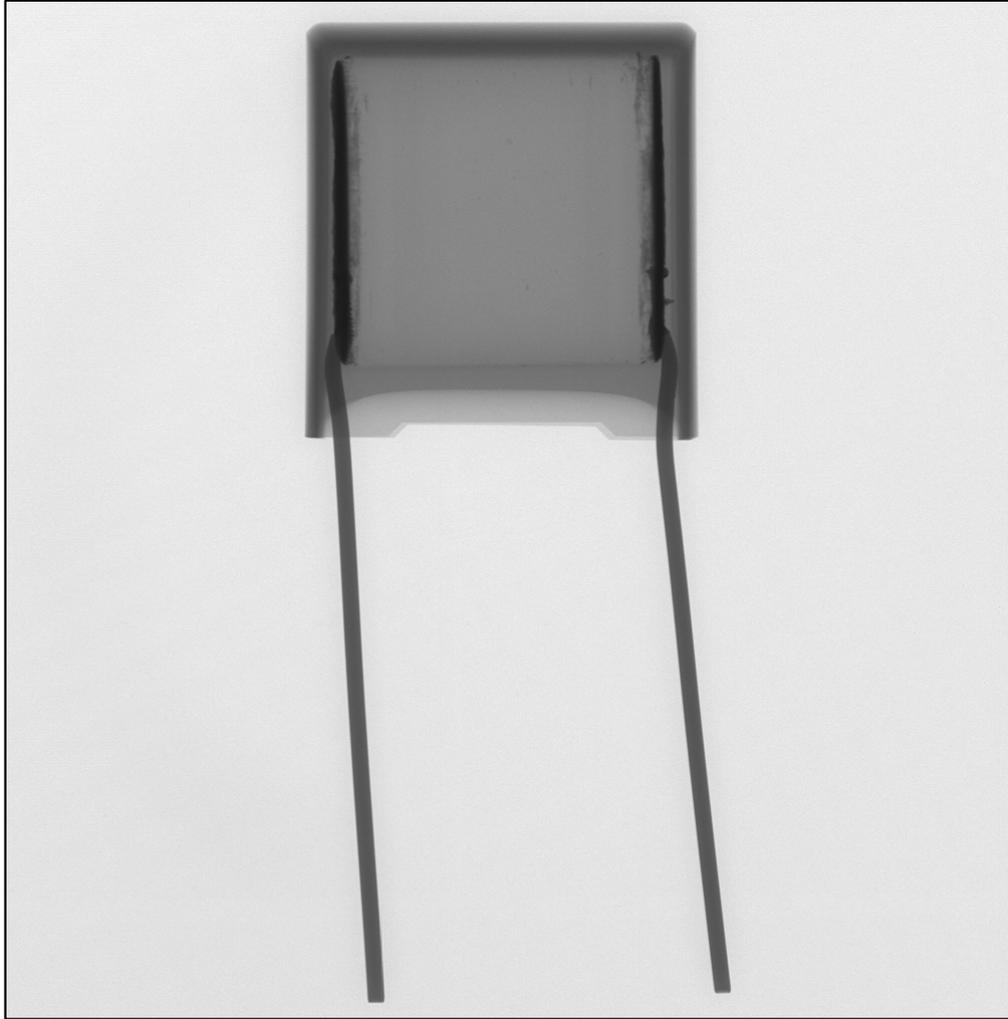
Specimen	X-ray analyses		
A			
B			
C			

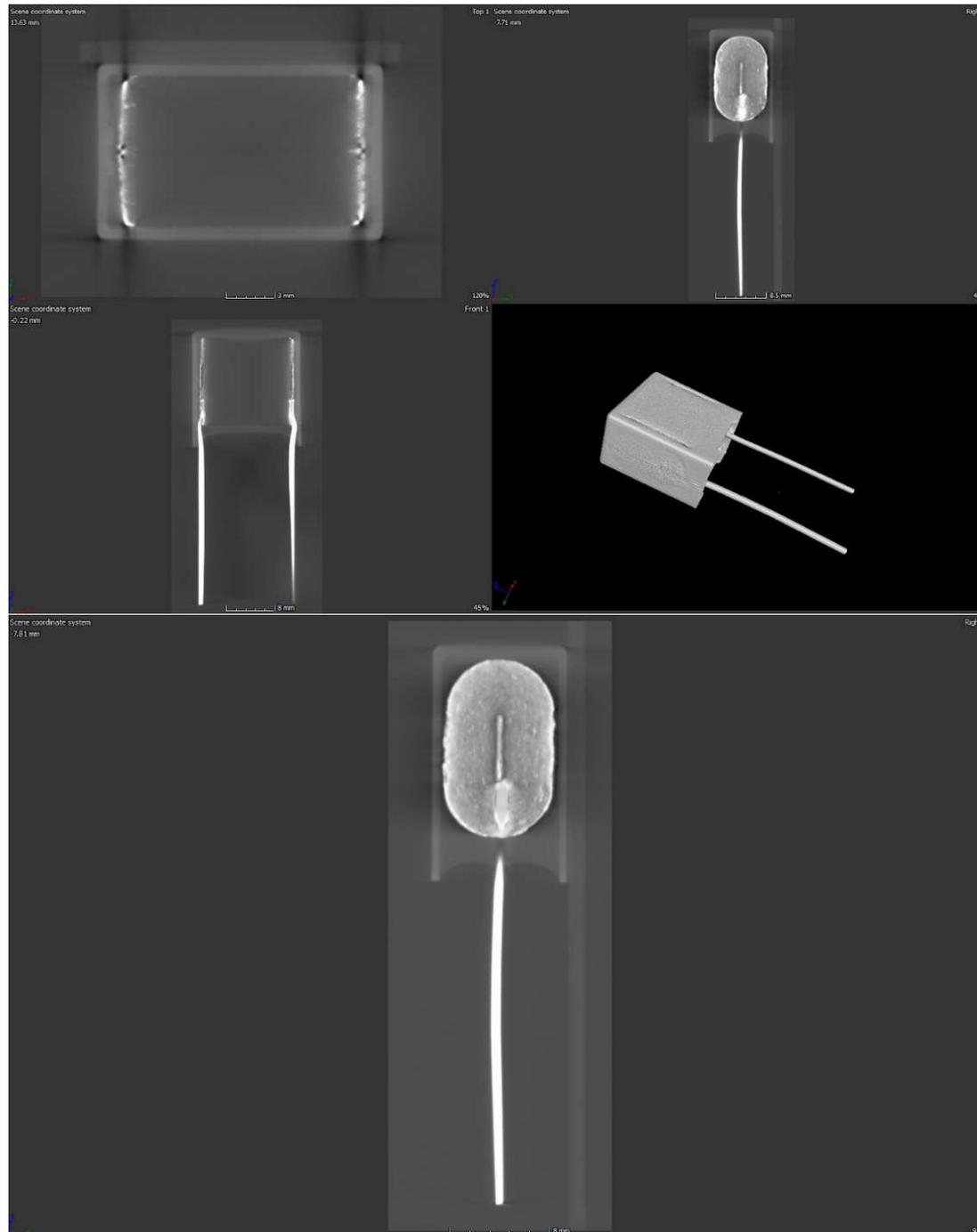






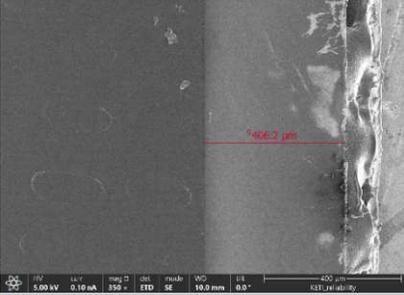
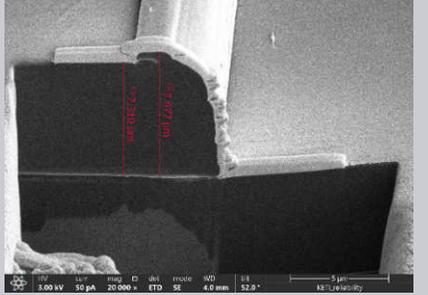
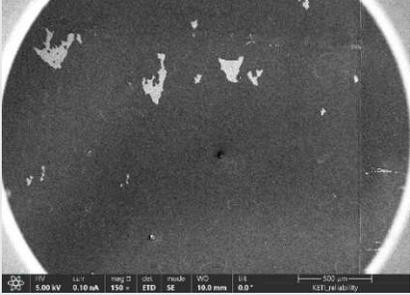
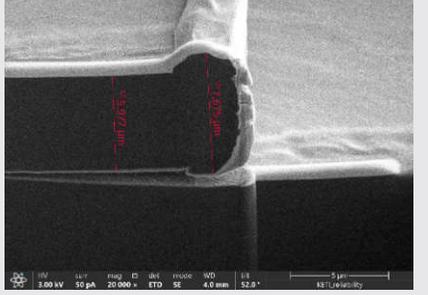
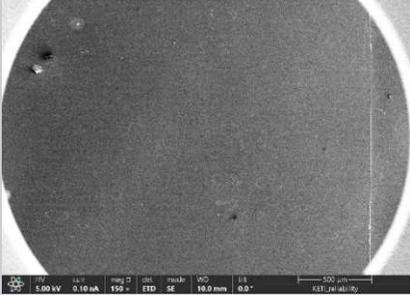
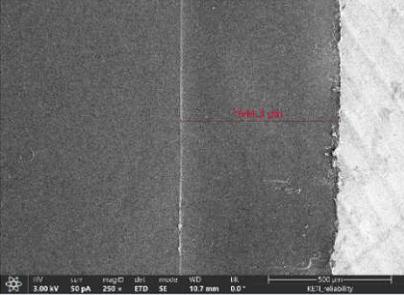
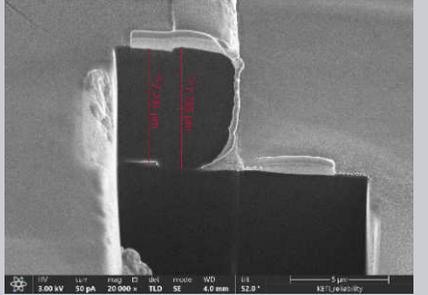


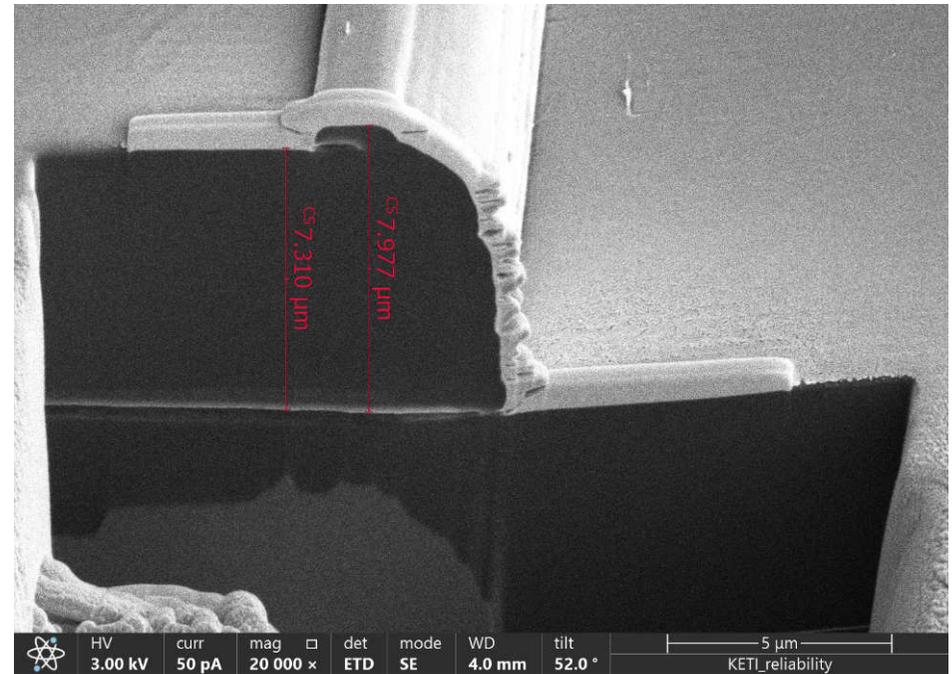
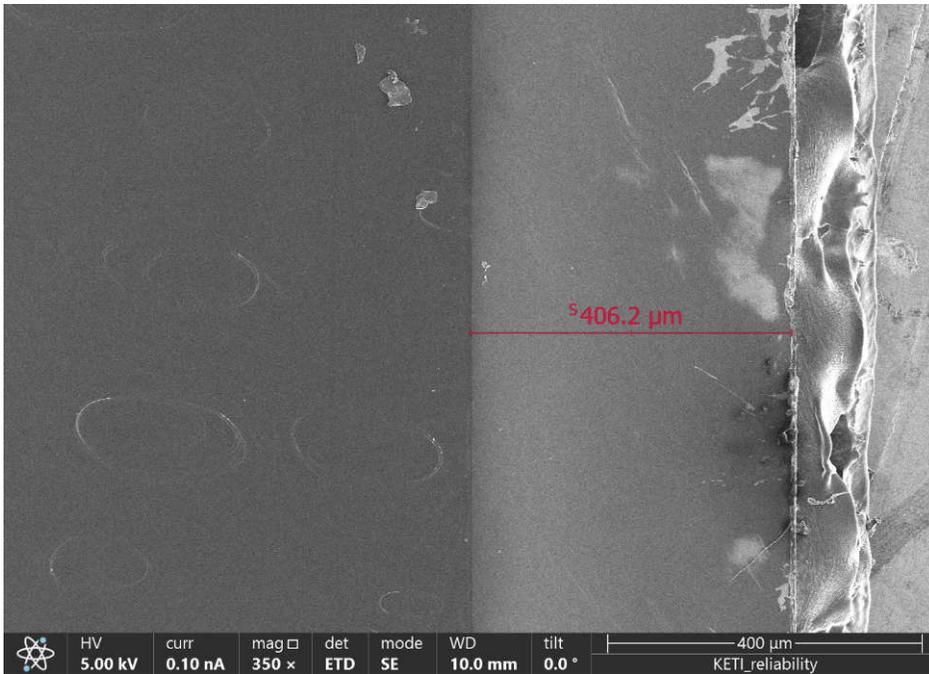
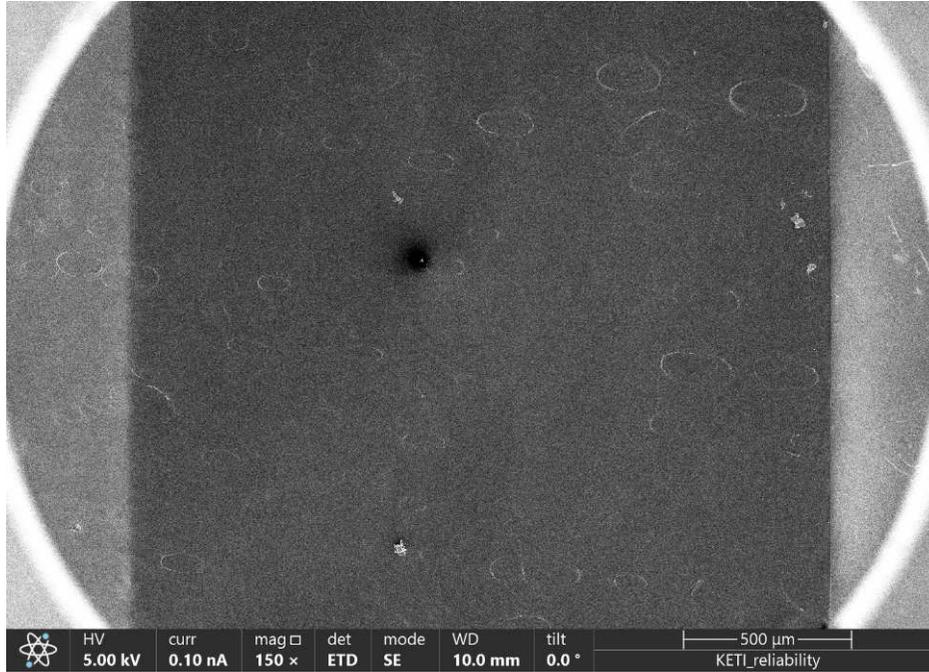


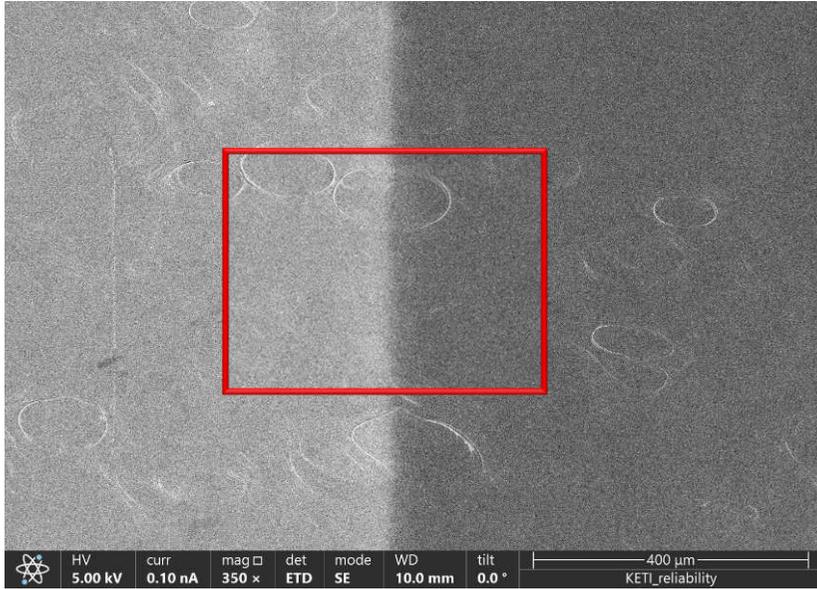


IV. SEM analyses

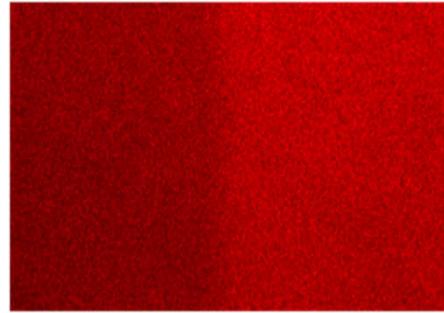


Sample	SEM analyses		
<p>A</p> 			
<p>B</p> 			
<p>C</p> 			



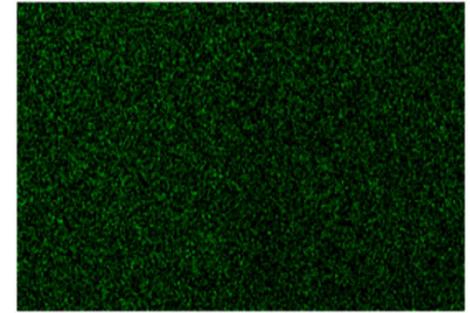


C K series



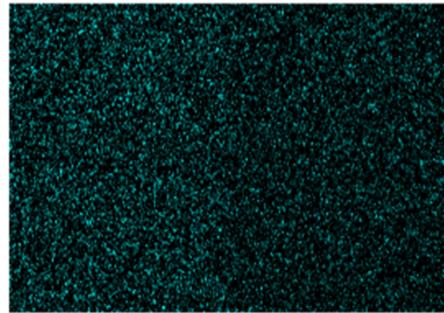
100μm

Zn K series



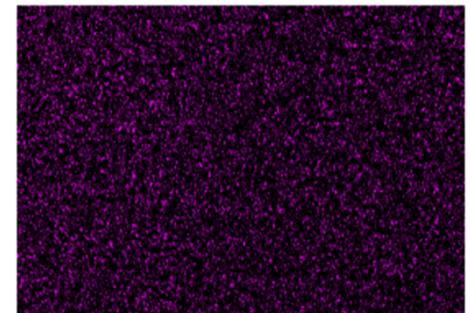
100μm

Na K series

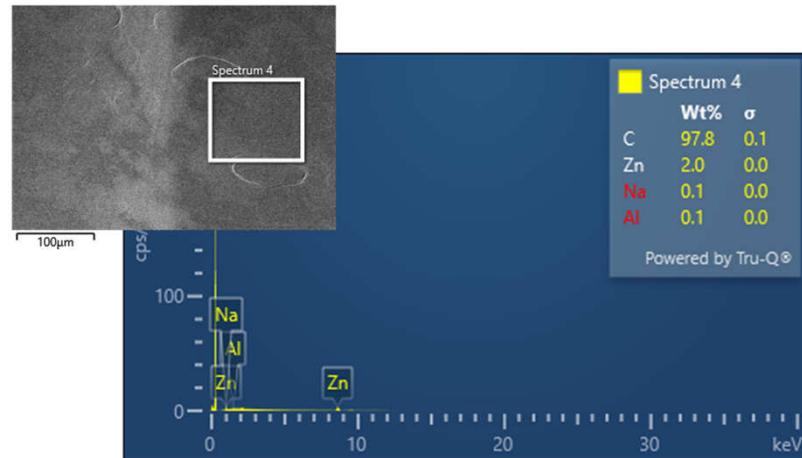
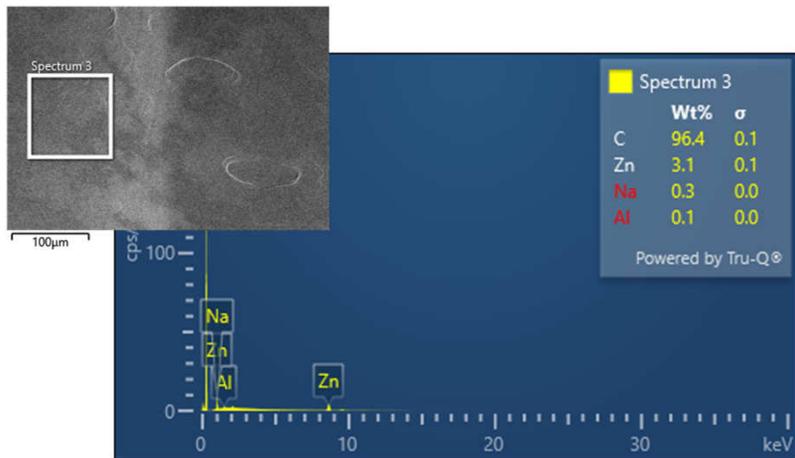


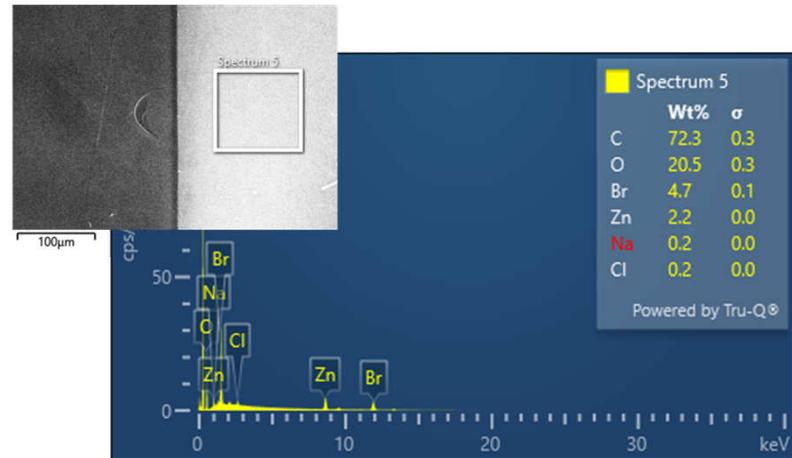
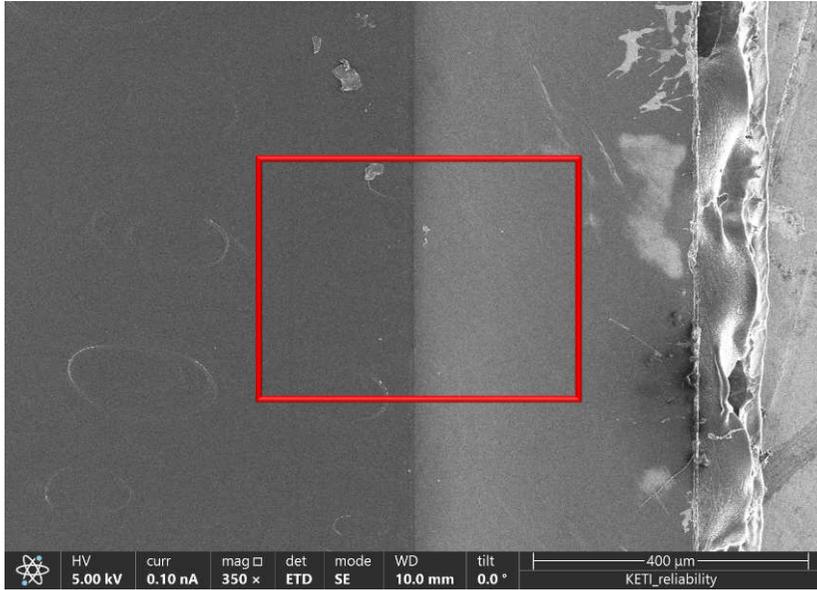
100μm

Al K series

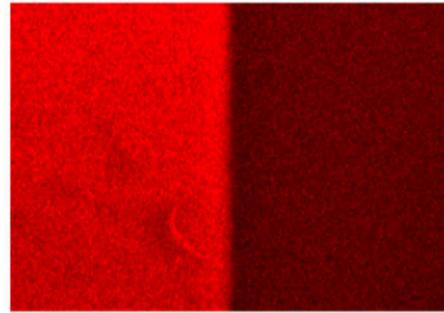


100μm

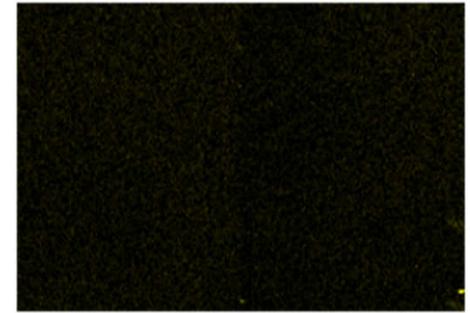




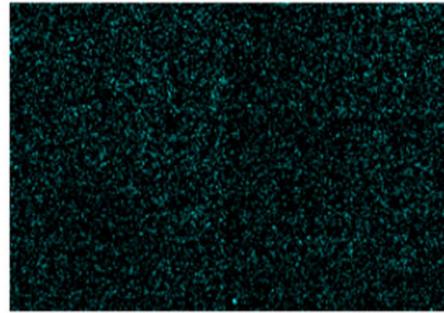
C K series



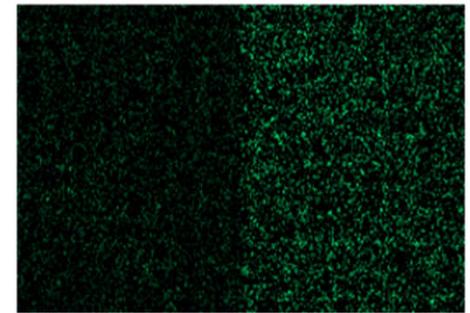
Zn K series



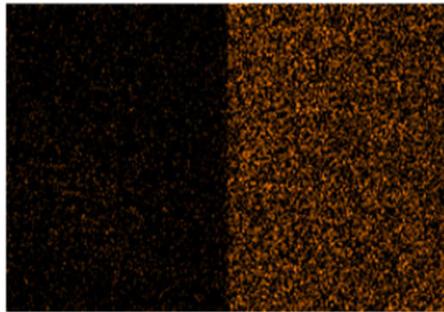
Na K series



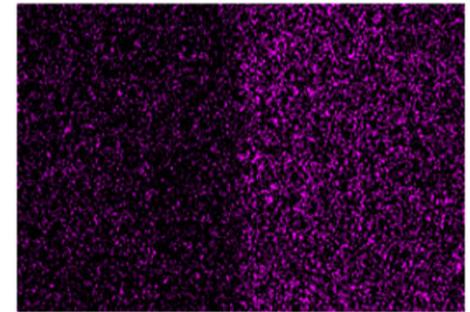
Al K series



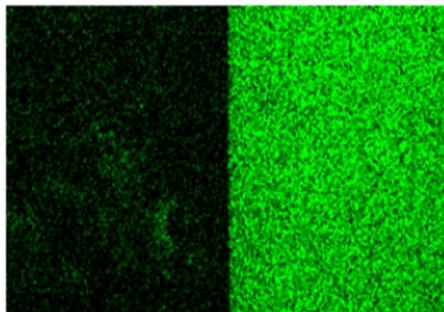
Br K series

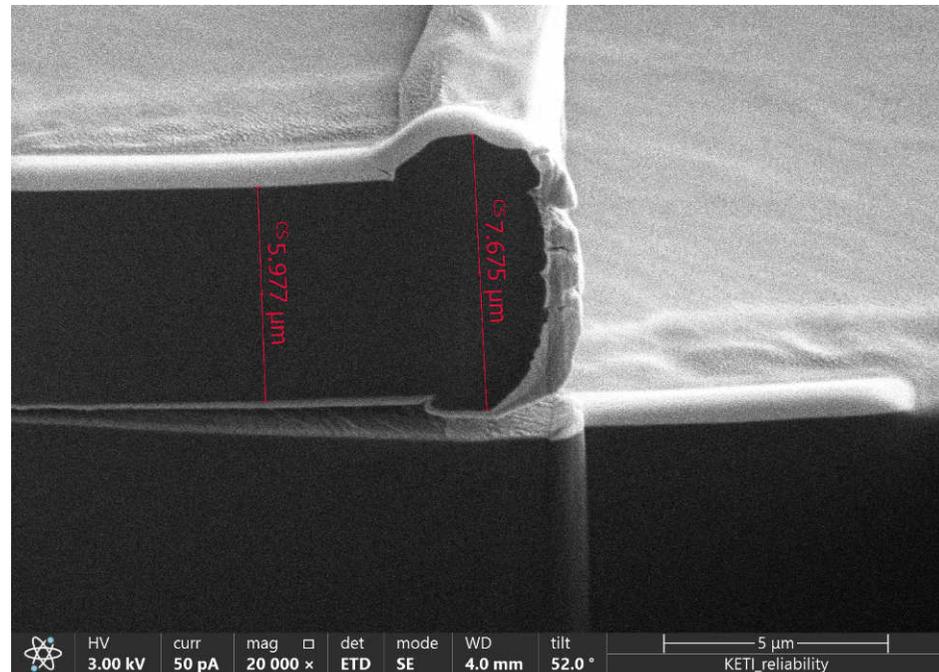
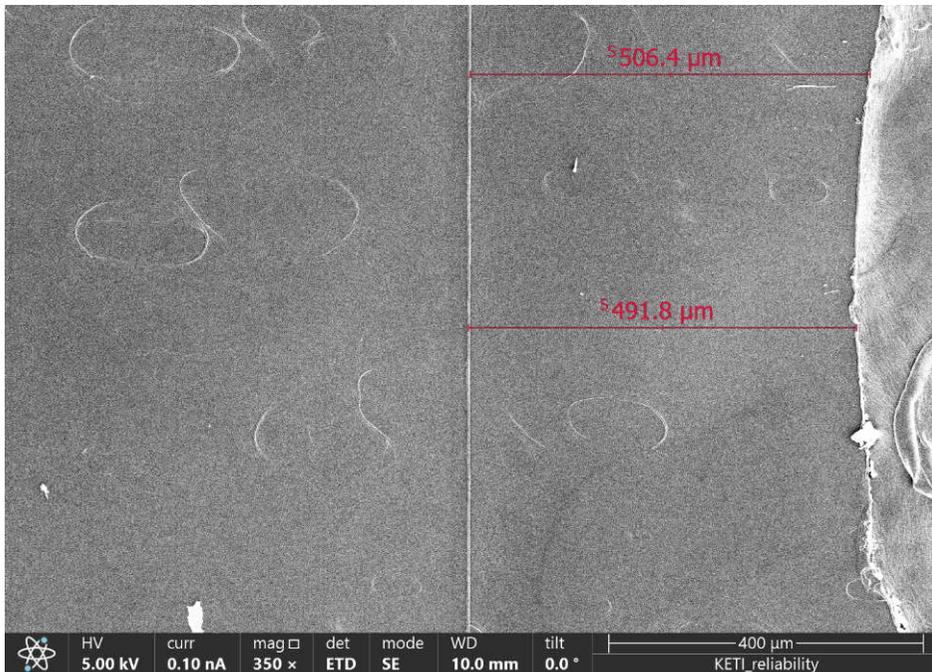
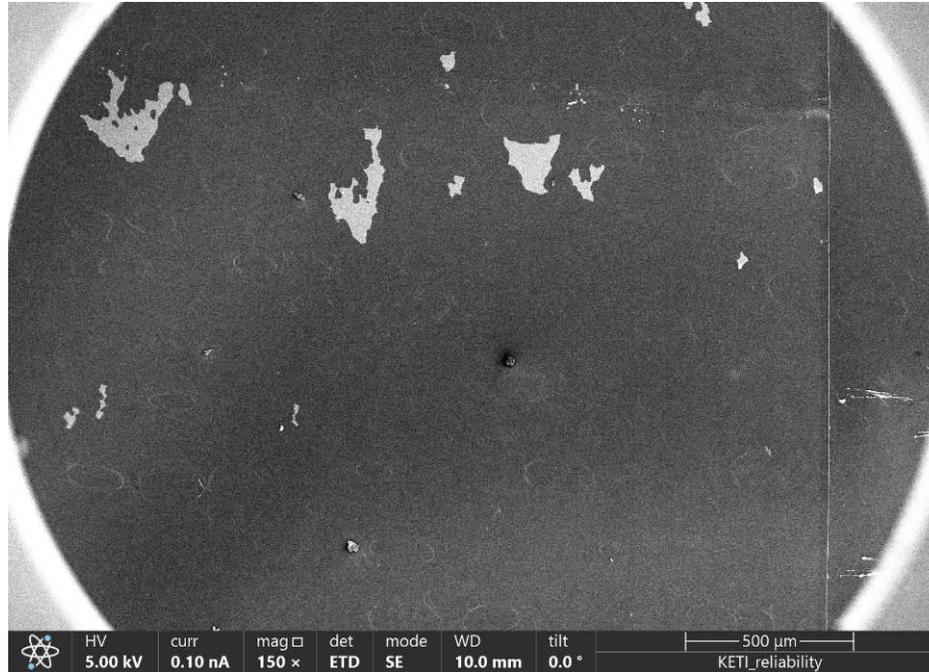


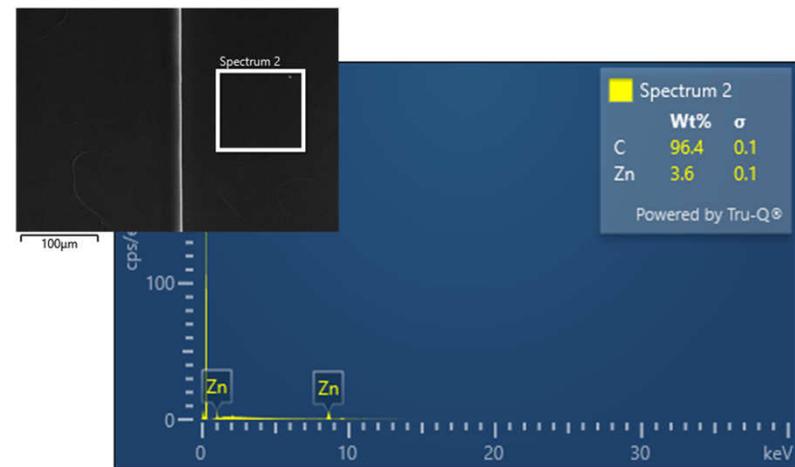
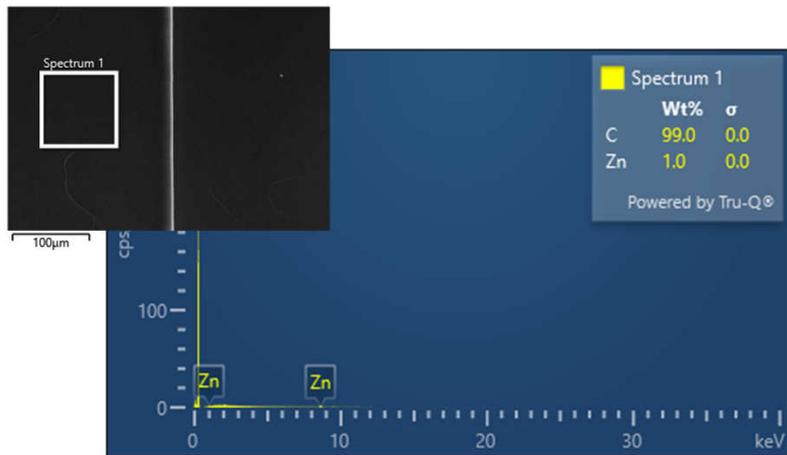
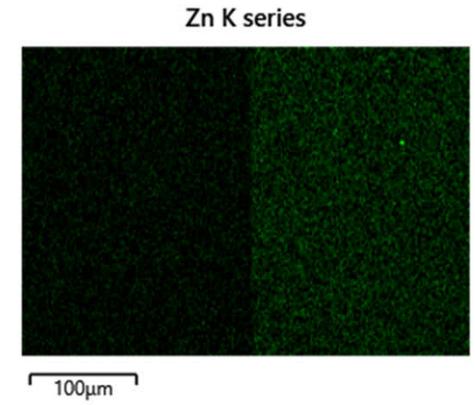
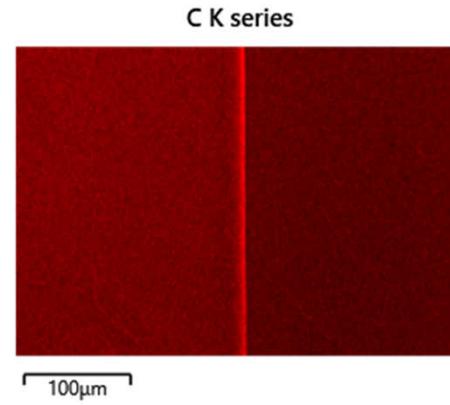
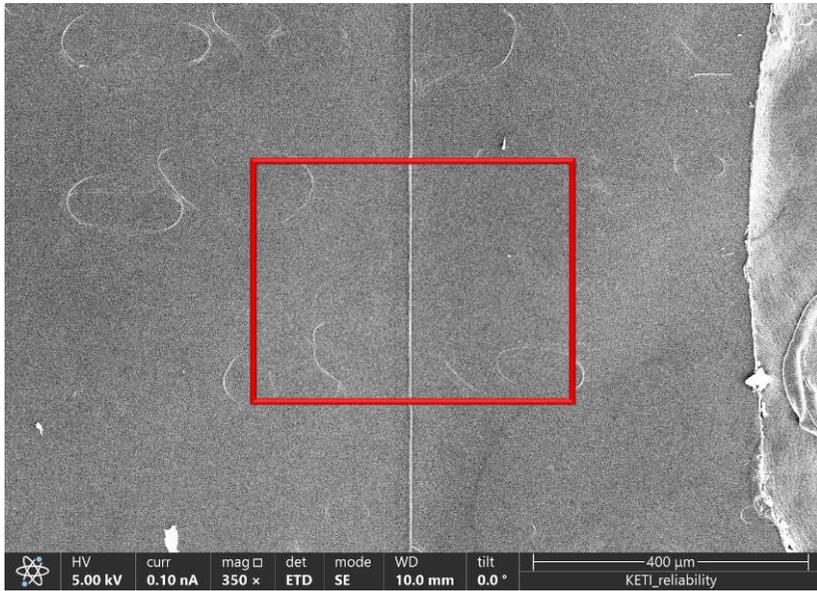
Cl K series

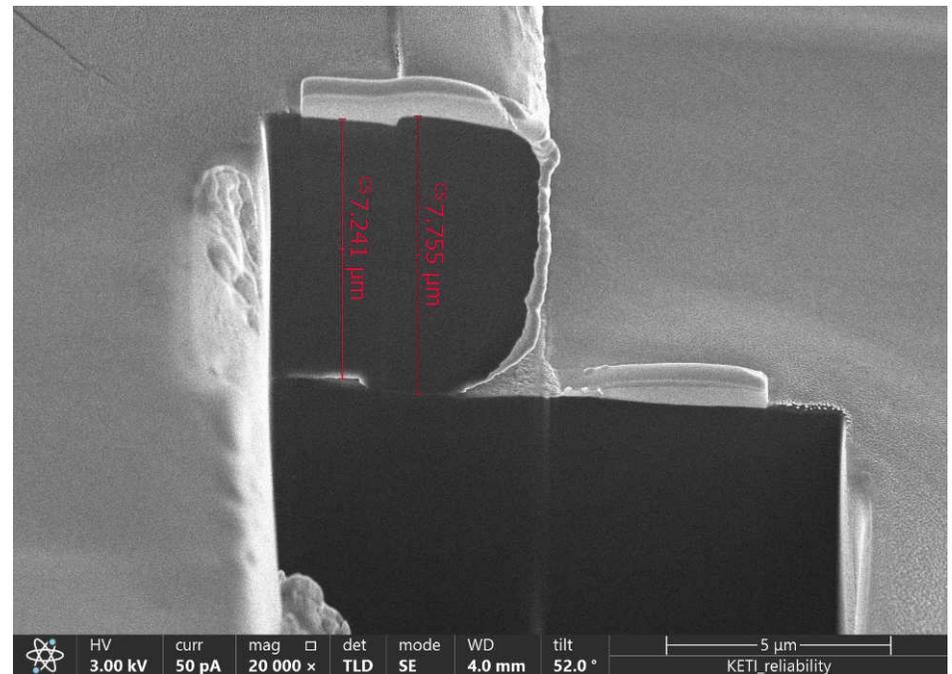
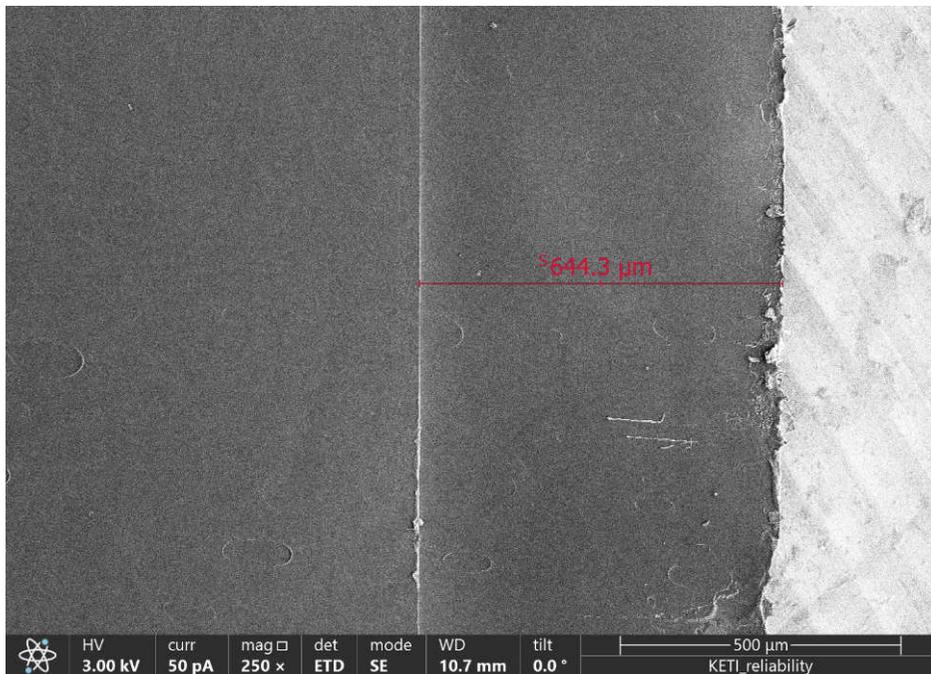
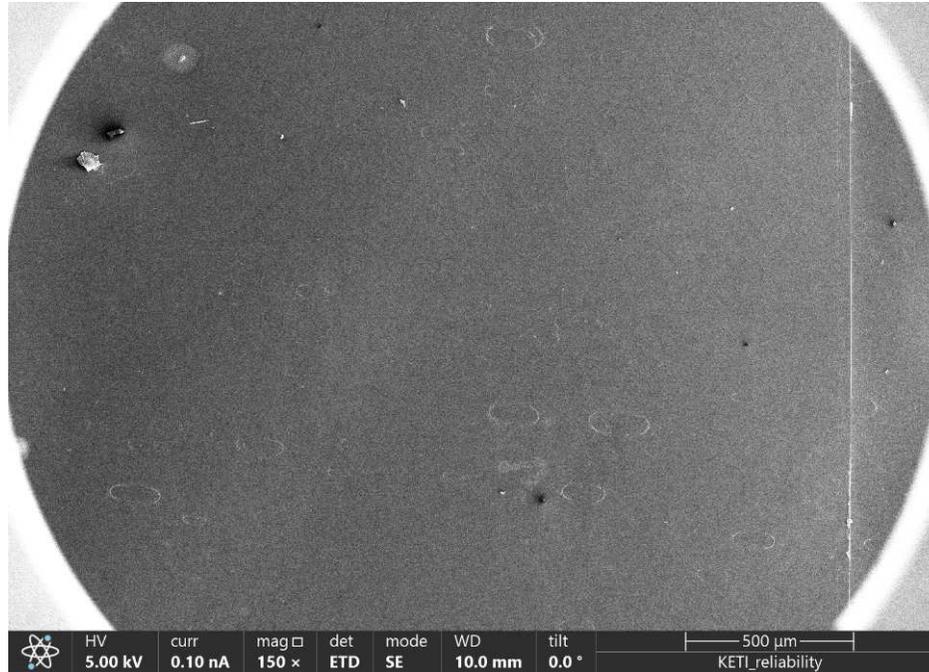


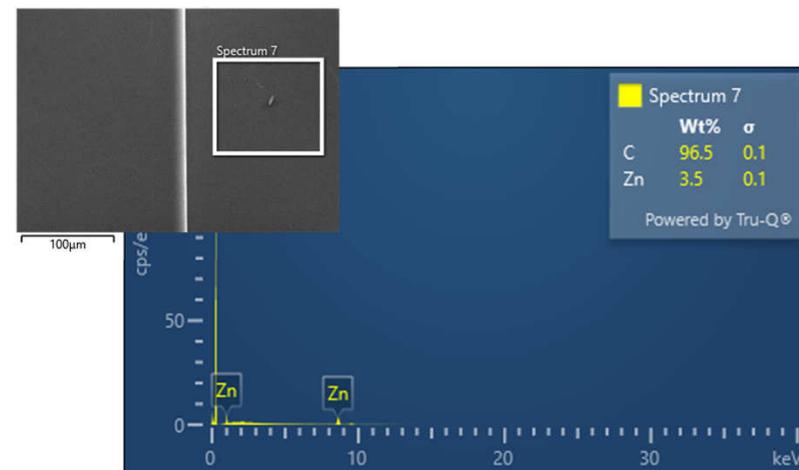
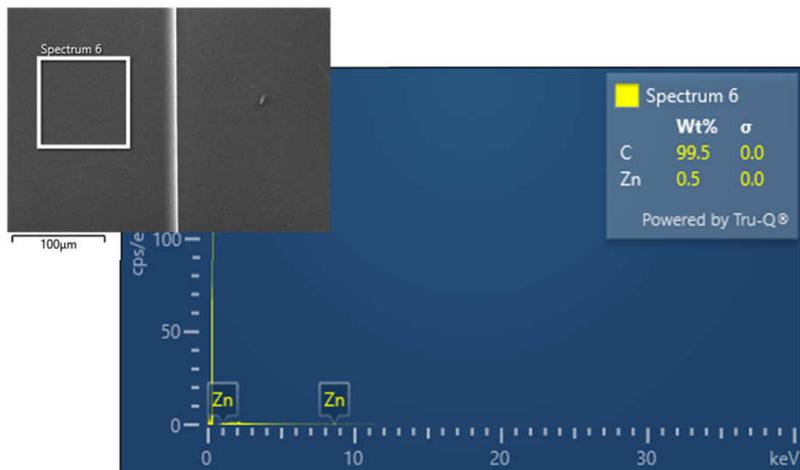
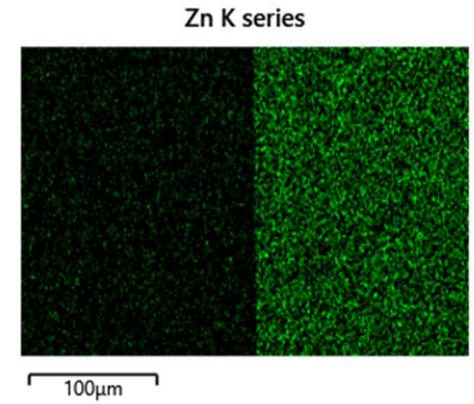
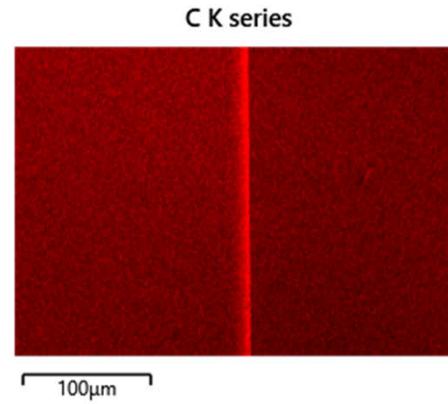
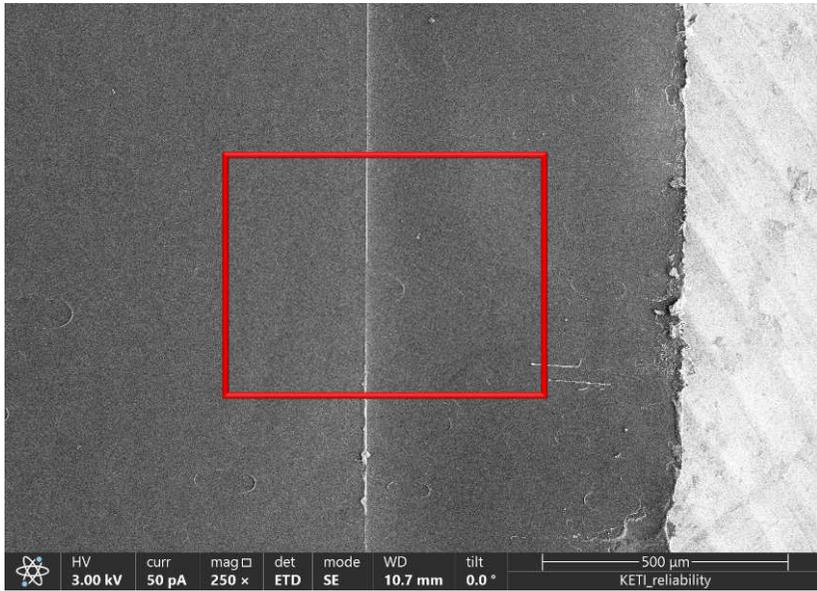
O K series











V. Summary and conclusions



【KETI試験結果考察】

- 三つの会社が製造したコンデンサーについて環境試験（高度、低温、高度湿度、熱衝撃、振動試験）、内部構造分析を行う。
- 三つのコンデンサーの内部構造には差がない。
- A社のコンデンサーが環境試験による特性変化が一番小さい。すなわち、外部環境のストレスに一番強いと言える。
- C社のコンデンサーは高度環境と熱衝撃環境に相対的に弱い。
- B社のコンデンサーは高度湿度環境に相対的に弱い。
- 高温試験によるCapacitanceの変化はA社の製品が一番小さい。 $(A < B < C)$
- 低温試験によるCapacitanceの変化はA社の製品が一番大きい。 $(B = C < A)$
- 高度湿度試験によるCapacitanceの変化はA社の製品が一番小さい。 $(A < C < B)$
- 熱衝撃試験によるCapacitanceの変化はB社の製品が一番小さい。 $(B < A < C)$
- 振動試験によるCapacitanceの変化はB社の製品が一番小さい。 $(B < A = C)$

KETI試験結果の考察

■フィルムキャパシタ各種試験結果比較

KETIにて実施しましたMPPフィルムキャパシタ製品3社の各種試験結果を比較して纏めました。特に大きな問題は散見されず性能/品質は安定していると推測できます。

試験項目		A: PILKOR	B: TDK EPCOS	C: KEMET
X線解析		異常なし/異物なし	異常なし/異物なし	異常なし/異物なし
SEM観察/成分分析		やや異物が有る(Zn)	やや異物が有る(Zn)	異常なし/異物なし
高温保存試験 (105°C/16時間)	容量変化最大値	0.08%	0.16%	0.22%
	容量変化平均値	-0.02%	0.07%	0.18%
低温保存試験 (-40°C/2時間)	容量変化最大値	-0.05%	-0.04%	-0.03%
	容量変化平均値	-0.03%	-0.02%	-0.02%
高湿度保存試験 (40°C/93%RH/500時間)	容量変化最大値	0.04%	0.24%	0.09%
	容量変化平均値	0.02%	0.18%	0.06%
サーマルショック試験 (-40°C~105°C変化/30分間隔 5サイクル)	容量変化最大値	0.11%	0.10%	0.21%
	容量変化平均値	0.06%	0.04%	0.17%
振動試験 (XYZ方向/10Hz~55Hz)	容量変化最大値	0.02%	0.03%	0.02%
	容量変化平均値	0.01%	0.00%	0.01%

KETI試験結果の考察

①SEM観察/成分分析について:PILKOR製品

同社のSEM観察より、若干の異物混入が確認されました。それら成分を分析した結果、それら異物は”Zn(亜鉛)”が主成分と判明しました。これは酸化金属として亜鉛を使用しており、その残滓の一部が拡散したもので、性能的問題は無いと考えます。

